教育推進プラン・江東（第２期）

テーマ２　自分らしさ

4 個に応じた教育

KOTO City in TOKYO
スポーツと人情が熱いまち 江東区

一人一台端末の活用

互いの考えの共有や検討

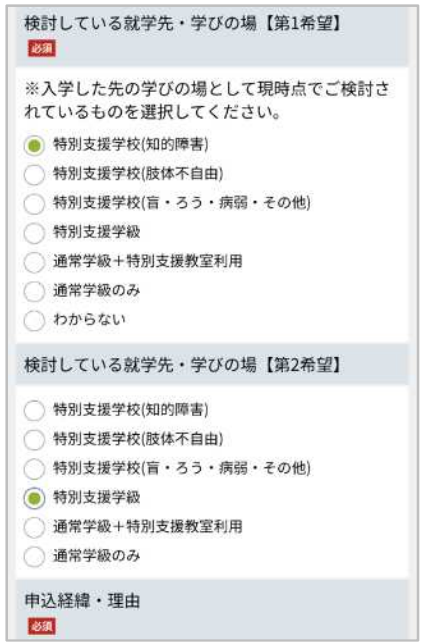
特別支援教室にて
自己の特性に合った
学び

デジタル教科書を
使って学習

就学相談 電子申請サービスの導入

基本情報についてお伺いします。

お子さんの氏名 必須	※姓名等の区切りに“ ”(全角スペース)を入れてください。 32文字以下で入力してください。
お子さんの氏名（フリガナ） 必須	※姓名等の区切りに“ ”(全角スペース)を入れてください。 32文字以下で入力してください。
お子さんの生年月日 必須	年 月 日
お子さんの年齢 必須	令和5年4月1日時点の年齢を表示しています。
保護者様の氏名 必須	※姓名等の区切りに“ ”(全角スペース)を入れてください。 32文字以下で入力してください。



検討している就学先・学びの場【第1希望】 必須

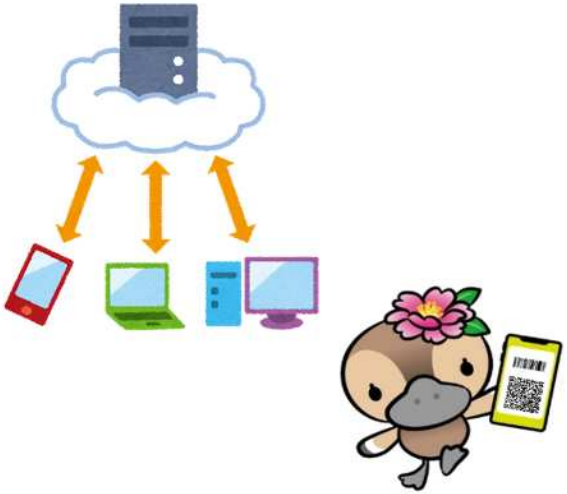
※入学した先の学びの場として現時点でご検討されているものを選択してください。

- (●) 特別支援学校(知的障害)
- ( ) 特別支援学校(肢体不自由)
- ( ) 特別支援学校(盲・ろう・病弱・その他)
- ( ) 特別支援学級
- ( ) 通常学級＋特別支援教室利用
- ( ) 通常学級のみ
- ( ) わからない

検討している就学先・学びの場【第2希望】

- ( ) 特別支援学校(知的障害)
- ( ) 特別支援学校(肢体不自由)
- ( ) 特別支援学校(盲・ろう・病弱・その他)
- (●) 特別支援学級
- ( ) 通常学級＋特別支援教室利用
- ( ) 通常学級のみ

申込経緯・理由 必須



保護者の皆様の利便性向上

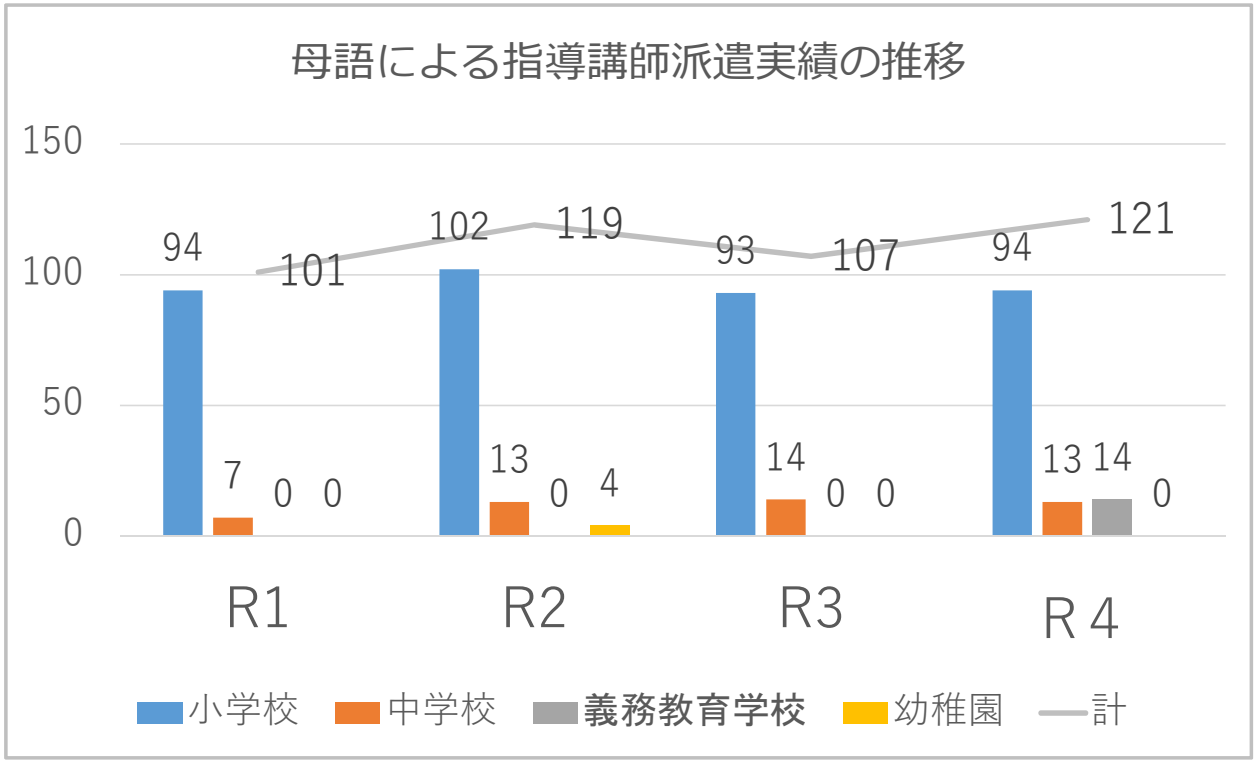
令和４年度　電子申請による申込み

電子申請　177件　／総件数　330件（53.6％）

母語による指導が可能な講師を派遣

R3 → R4 予算増

	R3	R4
派遣可能回数	**2,000回**	**2,400回**
小学生 一人あたりの指導回数	**１８回**	**２２回**
中学生 一人当たりの指導回数	**２７回**	**２７回**



今後の方向性

●環境の整備

・江東区特別支援教育検討委員会において検討

●個に応じたニーズへの対応

・医療的ケア対応をきっずクラブ、幼稚園で開始

教育推進プラン・江東（第２期）

テーマ２　自分らしさ

5　丁寧な相談

KOTO City in TOKYO
スポーツと人情が熱いまち 江東区

ワンストップ型教育相談窓口

～お子さまについて、お気軽にご相談ください～

- どこに相談したらよいかわからない
- 学校に行きたがらない
- 発達や特性に心配がある
- 学習に思うように取り組めていない
- 友達とうまくかかわれていない
- その他、教育上の心配がある

江東区観光キャラクター
コトミちゃん

- こどもへの関わり方が難しい

相談員が、相談内容を伺い、適切な相談先をご案内します。
（臨床心理士・ブリッジスクール・就学相談員 etc）

電話相談

●月曜日～金曜日
（祝日及び12月29日～1月3日を除く）
●午前９時～午後４時３０分
TEL　03(3649)3834

スマートフォンから相談受付

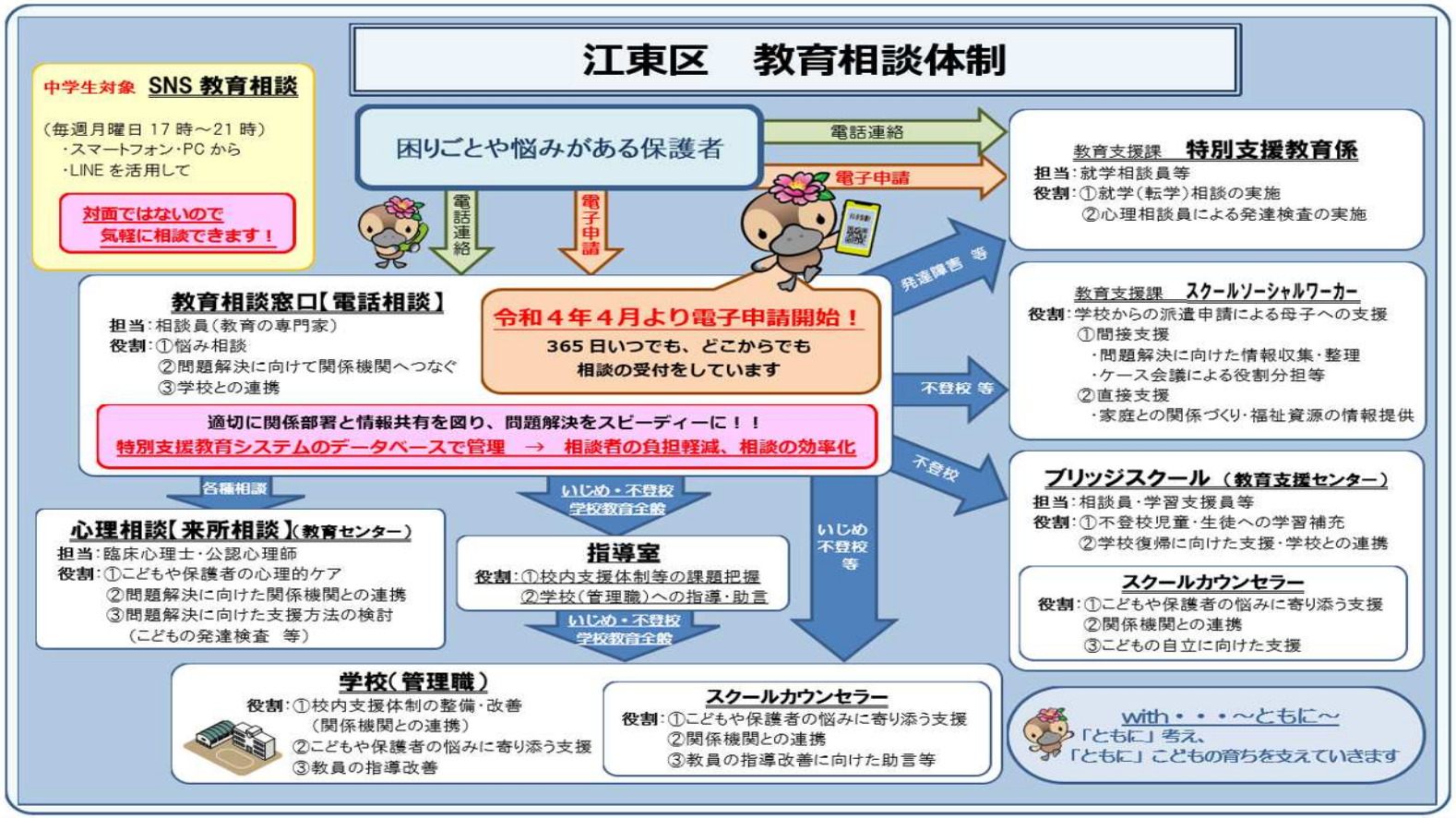
PCからでもOK　↓検索　または　2次元コードから↓

江東区 電子申請 教育相談

365日　24時間

●「いつでも」「どこからでも」
心配なことを　ご相談ください
●相談員から電話や電子メールで折り返しご連絡いたします

令和4年度 江東区教育相談体制



令和4年度 江東区教育相談体制

相談員が相談内容を丁寧に聞き取る

相談者

ワンストップ型
教育相談窓口

教育センター

教育支援課

指導室

学校園
（SC・SSW）

学務課

子ども家庭支援センター
など

相談員の助言で解決しない場合は、
適切な相談先を案内する

◎問題の背景要因を把握
◎関係各課や学校との情報共有
◎問題解決に向けた専門機関（職）や解決方法の検討

スクールソーシャルワーカーの活用

警察関係

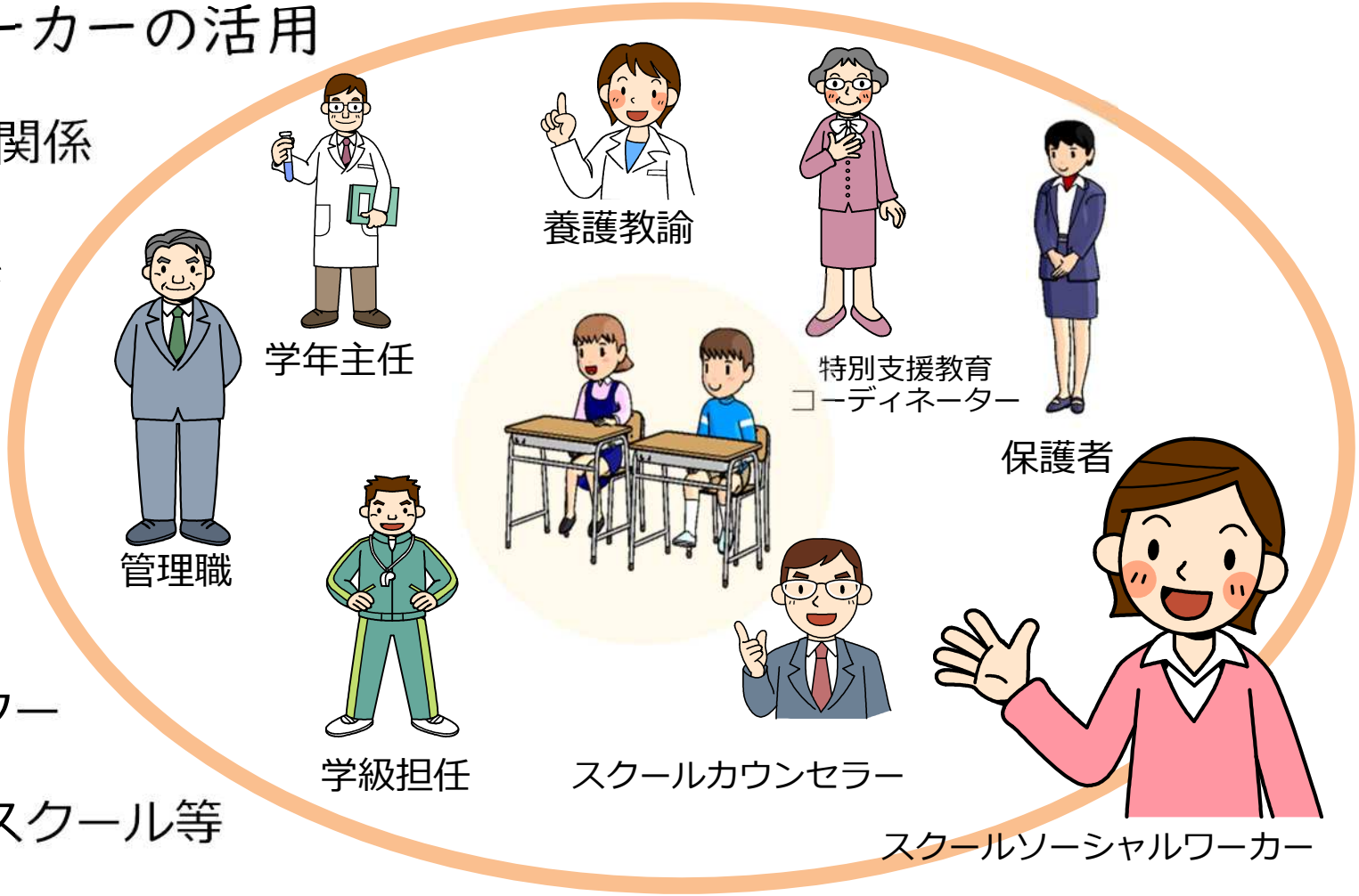
医療関係

地域

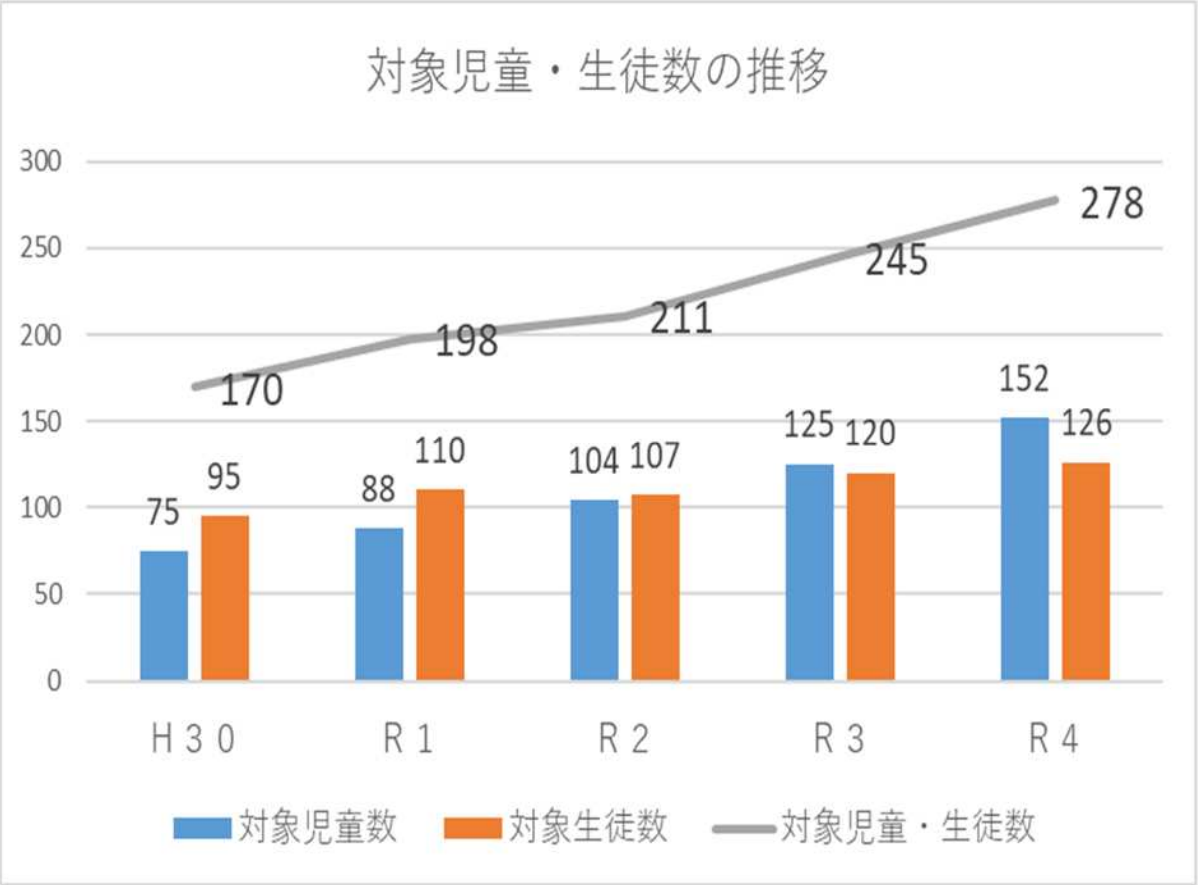
児童相談所
子ども家庭支援センター

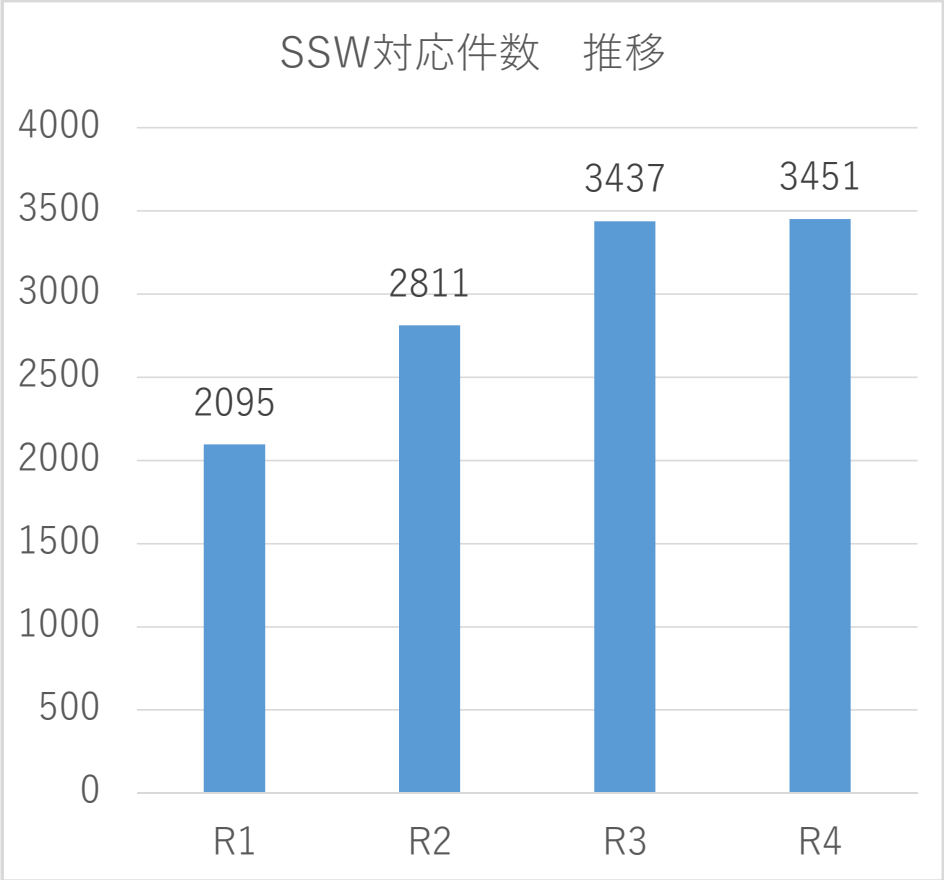
教育センター

フリースクール等



テーマ２ 自分らしさ 5 丁寧な相談





テーマ２ 自分らしさ 5 丁寧な相談

【事例】 登校しぶりが見られるこどもへの支援について

家庭訪問（関係づくり）

・教員の対応が難しい時間も
・こどもの話をじっくり聞く
・保護者の困り感への寄り添い

登校支援（学校へつなぐ）

・こどもの希望に合わせた時間に短時間登校など
・学校と連携し、楽しめる時間を設定

テーマ２ 自分らしさ 5 丁寧な相談

【事例】 外出と人と関わる機会

・社会福祉協議会と連携した居場所

・ゲームをしながら関係づくり

・教育センターで親子面談

スクールソーシャルワーカー

派遣申請型から学校巡回型へ

未然防止、早期発見の強化

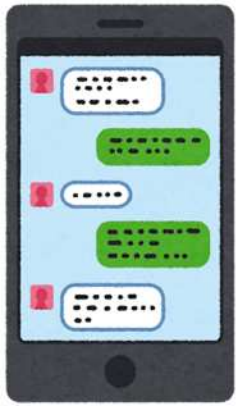
チーム学校の一員として授業観察等を行い、学校と一緒にこどもを取り巻く環境にアセスメントを強化する。

週１回３時間程度
全学校に訪問等

ペアやグループで
組織的な支援

資質向上のための
研修・事例検討会

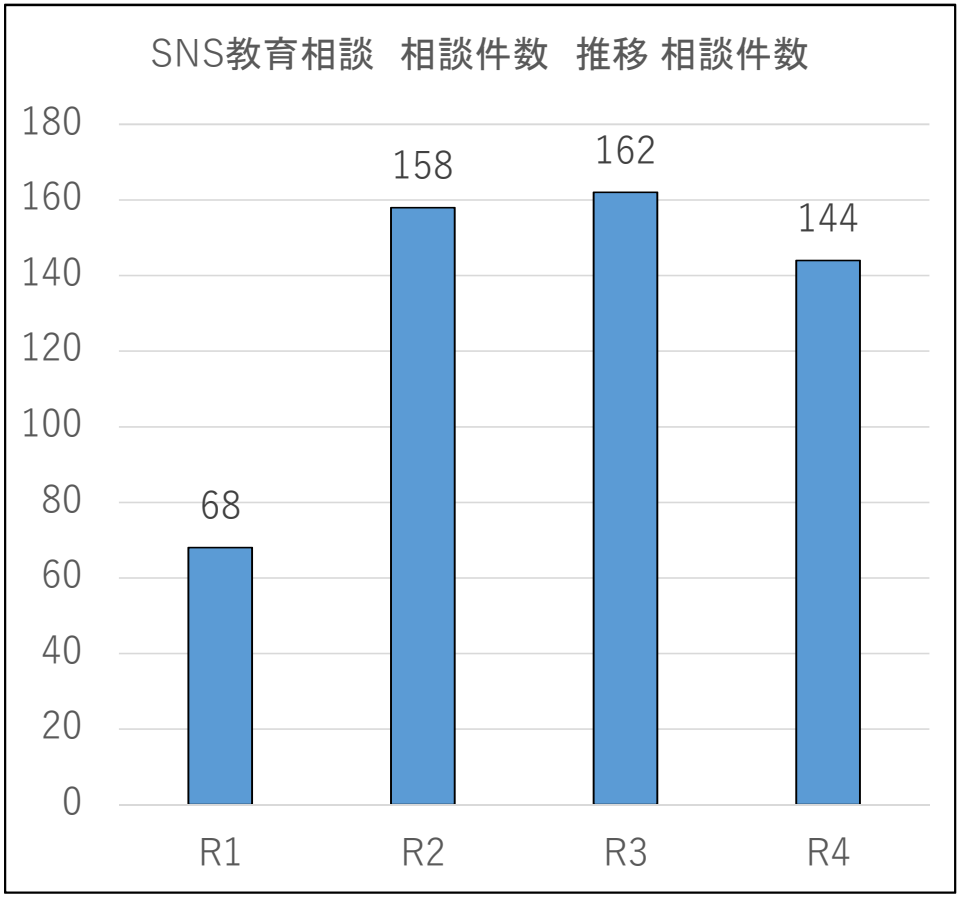
SNS教育相談



LINE からの相談

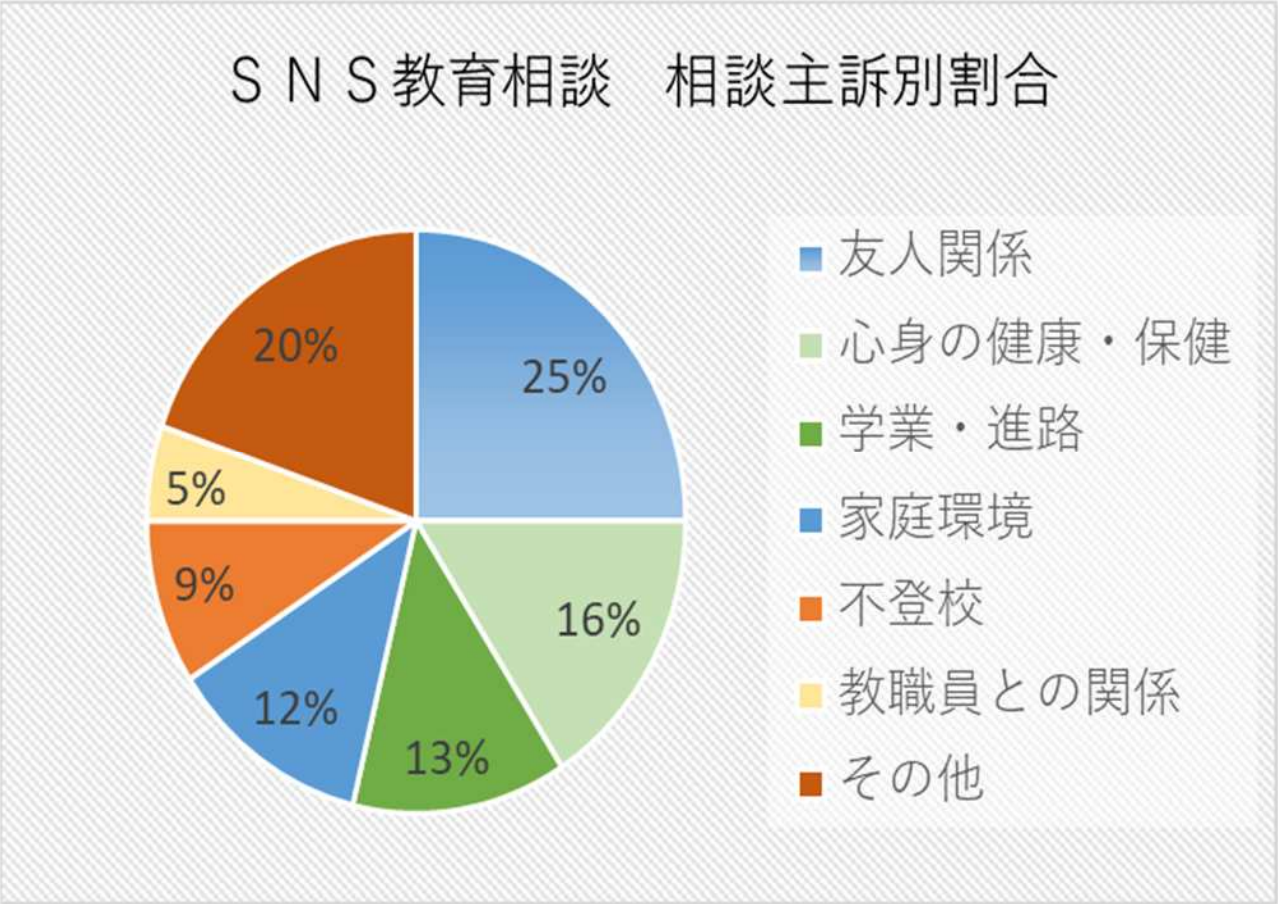
＋

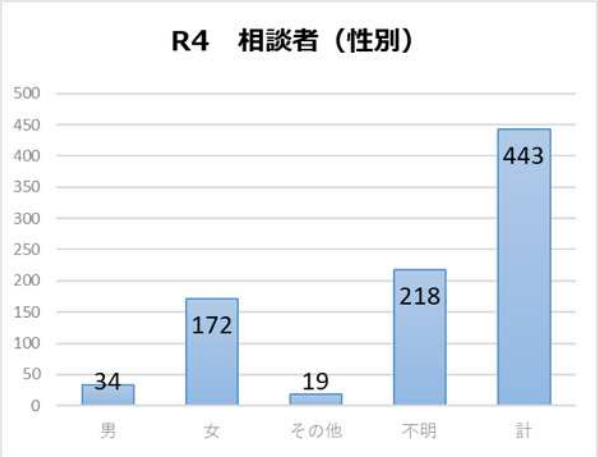
一人一台端末からも可能に



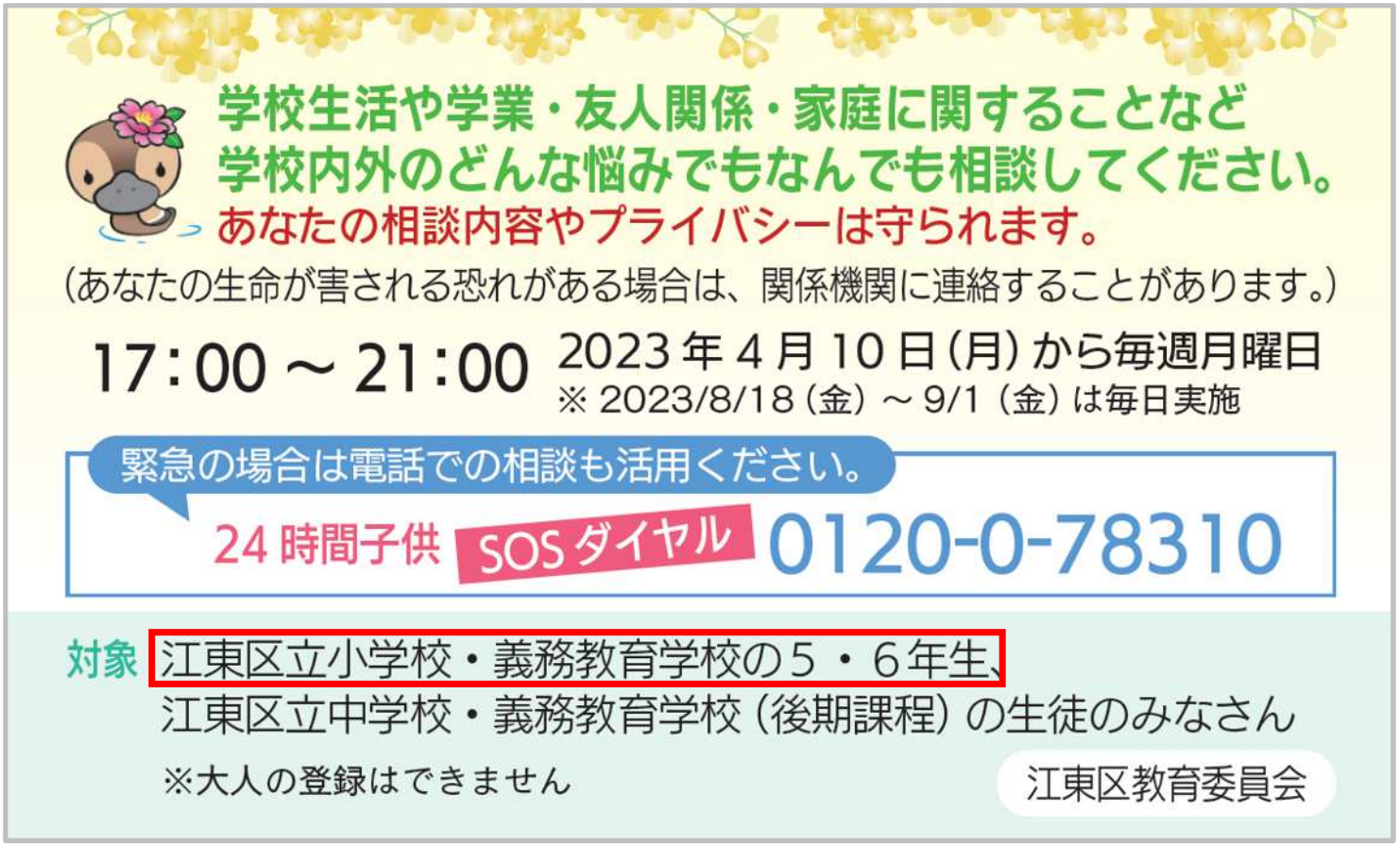
相談の入口を増やし、
気軽に相談

テーマ２ 自分らしさ 5 丁寧な相談 (27)スクールソーシャルワーカー等の活用





SNS教育相談　R5「5to9 マンデーなんでもチャット相談」



教育センターケース会議

（1）ねらい	・各担当に入ってきた情報を共有、連携や学校への働きかけが必要なケースについて検討する。
（2）実施日時	・毎週水曜日　９時３０分～１０時３０分【６０分間】

【参加関係者】
＊教育支援課長（教育センター所長）
＊指導室指導主事
＊教育支援課指導主事
＊特別支援教育係
＊スクールソーシャルワーカー
＊教育センター電話相談員
＊教育センター心理相談員
＊ブリッジスクール

・情報共有
・対応方針の共有
・役割分担の明確化
・問題解決の迅速化

↓

問題の重篤化防止

学習支援アプリをブリッジスクールで活用

一人一台端末を活用した一人一人の能力や学習状況に応じた学び

ブリッジスクールにスクールカウンセラーを配置

・こどもと面談

・保護者と面談

・遊びを通したかかわり

・「カウンセラーだより」の発行

・一人一台端末を活用し、こどもへ連絡

体験活動の充実

カヌー教室

児童館訪問

ものづくりを通じたかかわり

幼稚園での交流

日常でもボッチャ

遊びを通じたかかわり

今後の方向性

●より丁寧で相談しやすい環境づくり

●ブリッジスクール
・オンライン上での学習や体験的な学びのさらなる充実
・フリースクール等の公民連携の検討